

各 位

上場会社名	ザインエレクトロニクス株式会社
代表者	代表取締役社長 野上一孝
(コード番号)	6769)
問合せ先責任者	取締役経営企画部長 高田康裕
(TEL)	03-5217-6660)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,588	521	669	489	39.96
今回修正予想(B)	3,664	348	736	498	47.60
増減額(B-A)	△924	△172	66	8	
増減率(%)	△20.1	△33.0	10.0	1.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	4,036	155	618	640	52.85

平成26年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,516	538	686	480	39.23
今回修正予想(B)	3,646	370	758	519	49.69
増減額(B-A)	△869	△167	71	39	
増減率(%)	△19.3	△31.1	10.4	8.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	4,036	146	608	633	52.22

修正の理由

当社は2016年を目標年次とする中期経営戦略「REGROW」に基づき、地域と市場と技術の各ポートフォリオを強化することにより、過去最高の営業利益水準の達成を目指しています。

当期においては、中国市場向け出荷の直近計画比での減少、国内スマートフォン市場向け出荷の後倒しが見込まれるほか、4Kテレビ以外のテレビ市場向け出荷の減少等により、全体の出荷数量が直近計画を下回る見込みとなりました。

これらにより、連結売上高は36億64百万円(計画比20.1%減、前期比9.2%減)、連結売上総利益は23億80百万円(計画比15.6%減、前期比8.9%増)となる見込みです。

研究開発活動について一層の効率化を進めることができたことなどに伴い、販売管理費は20億31百万円(計画比11.6%減、前期比0.0%増)、連結営業利益は3億48百万円(計画比33.0%減、前期比124.3%増)となる見込みです。また、第2四半期より開始した資金運用の分配金収入および為替差益が見込まれること等により、連結経常利益は7億36百万円(計画比10.0%増、前期比19.0%増)、連結当期純利益は4億98百万円(計画比1.7%増、前期比22.3%減)となる見込みです。今回修正した連結営業利益、連結経常利益および連結当期純利益は、期初計画比ではそれぞれ15.4%増、140.1%増および171.2%増と上回る見込みとなっています。

なお、これらの予想は、1ドル=113円の為替レートを前提としております。また、期末配当予想の1株当たり8円についての修正はありません。

当社は、当期に実現できた中国スマートフォン市場への参入を端緒として、中国を始めとする海外向けビジネスを加速してまいります。また、海外先進需要に対応したソリューション提供を通じてリバース・イノベーションを加速し、世界市場に付加価値を提供していく方針です。さらに、産業機器市場や車載市場における独自の新しいソリューションを提案していくほか、アライアンスを加速することを通じて付加価値力を強化し、中期経営戦略「REGROW」の達成に向けた取組みを実行してまいります。

以上